

2010年2月10日 データ取得更新マクロ機能追加 (Ver5.07⇒Ver5.08)

立て続けの更新になりますが、データ取得更新マクロに新たな機能を追加いたしました。当マクロをご利用中の方は、ダウンロードしてご活用ください。

今回追加した機能は、証券コードをシートのリストに設定したものの、データ取得更新において対象銘柄が存在しない、もしくは株価データが取得できない場合に、それらをリスト上から削除するものです。これによって、無用な登録銘柄を除外することができます。

本機能の利用方法は、シート上に新たに追加した不正データ削除欄に、"Yes1"、"Yes2"、"No"のいずれかを設定し、データ取得更新ボタンを押すだけです。設定方法はシート上のコメントに示していますが、その内容を以下に記します。

不正データ削除：

証券コードや株価データが存在しない銘柄を、データ取得更新実行時にリストから削除します。

"Yes1"を設定すると、証券コードおよび株価データが存在しない銘柄を削除します。

"Yes2"を選択すると、証券コードが存在しない銘柄のみを削除します。

"No"を選択すると、何も削除しません。

Yahoo!ファイナンスサイトでは、上場廃止になった銘柄データはWebページに表示こそされないものの、当分の間HTMLドキュメント内に記述が残っている場合があります。

そのようなデータを取得すると、証券コードや銘柄名は確認されるものの、肝心の株価データが取得できないという事態が生じます。

"Yes1"を設定すると、証券コードそのものが存在しない場合と合わせて、そのような上場廃止銘柄もリストから削除しますが、"Yes2"を設定すると、上場廃止銘柄はリストから削除されません。

したがって、"Yes2"に設定することで最近上場廃止になった銘柄を確認することが可能になります。

なお、最初のデータ取得更新時には"No"を設定して全てをリスト上に残し、その後、"Yes1"もしくは"Yes2"を設定して不正データを削除することもできます。

データ更新を行わずに削除のみを行いたい場合は、データ取得・修正・更新の各設定をすべて"0"にした後、データ取得更新ボタンを押してください。

以上、ご不明な点等ございましたら、お問い合わせページよりお問い合わせください。